

令和3年度 教育行政評価シート（自己評価） NO. 21

主要事業名	スポーツ活動，スポーツを通じた交流の推進					作成日	R4.5.23		
						担当課名	スポーツ推進課		
						担当者名	生井澤 雅人		
事業の性質	法定受託 事務		自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス		管理経費
事業期間	単年度	○	年度繰返し		期間限定		建設事業		その他
							年度から		年度まで

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ			②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ		
基本方針	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり
体系項目	(1)	幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進	基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち 他
個別施策	①	スポーツ事業の開催と体験する機会の提供 他	基本施策	1	スポーツ交流の推進 他

根拠法令等	スポーツ基本法，第2期スポーツ基本計画（文部科学省）
-------	----------------------------

2 事業概要（Plan）

事務事業の概要・背景	生涯スポーツ社会の実現に向け，各種スポーツ大会及び健康づくり教室等の開催や地域スポーツ団体への支援など，市民のスポーツ活動を推進する。また，本市での茨城国体や東京2020オリンピック競技大会のサッカー競技開催を契機として，より多くの人がスポーツに関心を持てるような機運の醸成を図る。
------------	---

目的（事業の目指すところ）	市民がスポーツに親しみ，健やかで明るい日常生活を送ることができるように，スポーツでつながるまちづくりを推進する。（スポーツ・運動の機会の充実を図り，市民の健康増進・地域コミュニティの充実・青少年の健全育成等を図る。）
---------------	--

目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市スポーツ協会やかしまスポーツクラブ等と連携した各種スポーツ事業や指導者講習会等の開催 各スポーツ団体活動に対する補助金の交付（鹿嶋市スポーツ協会，大野リトルシニア野球協会） ※スポーツ協会には，各種競技連盟やスポーツ少年団，かしまスポーツクラブ等が加盟。 スポーツ競技の全国大会出場者等に対する支援 地域における健康づくり教室等の開催 スポーツ関連情報の提供「かしま SPORTS NAVI」の運用 オリンピック種目（バスケ3×3）の新規開催，パラスポーツ（ポッチャ）の普及・支援
------------	--

国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として，国民，団体，企業等の「スポーツ」への関心がさらに高まっている。茨城県では，令和元年茨城国体開催を契機に，県民のスポーツに対する関心意欲の向上や，健康・体力の保持増進と競技力向上に取り組んでいる。一方で，新型コロナウイルス感染症により，さまざまなスポーツイベントが中止等を余儀なくされ，日常の運動やスポーツ活動スタイルが大きく変化してきている。
--------------------------	---

3 数値目標と実績（Do）

数値目標	目標内容	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (予定・見込)	R5年度 (予定・見込)	R6年度 (予定・見込)	R7年度 (予定・見込)
		成人のスポーツ実施率	%	未実施	60	61	61

全体計画		R3年度 (決算額：千円)	R4年度 (予算額：千円)	R5年度 (計画額：千円)	R6年度 (計画額：千円)	R7年度 (計画額：千円)
投入コスト	ト伝武道大会	0	678	678	678	678
	サッカーフェスティバル大会	2,200	2,134	2,134	2,134	2,134
	全国大会出場報奨金	870	1,420	1,420	1,420	1,420
	スポーツ振興事業補助金	4,570	4,008	4,008	4,008	4,008
	健康づくりスポーツ教室	150	120	120	120	120
	スポーツホームページ	132	132	132	132	132
	合計	7,922	8,492	8,492	8,492	8,492
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他(参加者負担金)	0	0	0	0	0
	一般財源	7,922	8,492	8,492	8,492	8,492
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）	4	4	4	4	4
	その他職員（再任用（短），嘱託職員等）	2	2	1	1	1

4 具体的施策評価 (Check)

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標 に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善 の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①スポーツ大会や健康づくり事業の開催 【比率: 70%】	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会を開催し、競技スポーツの振興を図る。 スポーツに関するイベントや教室等を開催し、市民スポーツの実践率向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル ト伝杯武道大会(柔道・剣道) オリンピック種目(バスケットボール)の新規開催 スポーツチャレンジ エンジョイスports 各公民館地区における健康づくり事業 パラスポーツ(ポッチャ)の普及、支援 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル:ユースの部のみ新型コロナウイルス感染症対策を徹底し10チーム参加で実施。 ト伝杯武道大会、バスケフェスタ、スポーツチャレンジ、エンジョイスportsは実施に向けた会議等を重ねるも新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 各地区において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し各種健康づくり教室等を実施した(全62回、延参加人数856人) 地区レベルにおいてポッチャの普及を図る <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会、イベントは規模縮小や中止となったものの打ち合わせを重ね、コロナ禍での新企画を立案するなど次年度以降の開催の機運を下降させなかった。 バスケフェスタ:39チームがエントリー 各地区での各種健康教室等を開催し、地域住民が運動及びスポーツに取り組み機会を幅広く設けることにより、市民の健康増進への意識の高揚を図ると共に、スポーツを通じた地域コミュニティの維持と再生につながっている。 地区対抗球技大会でポッチャを取り入れたことにより、競技人口が増えた。 <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ト伝杯武道大会は令和3年度に限り鹿行地区の団体による大会として実施を検討。 参加費のみでバスケフェスタを運営する予算案を作成した。 エンジョイスportsに幅広い世代が楽しめる新種目導入を検討。 各地区選出のスポーツ推進委員が中心となり、ライフステージに応じた健康教室の企画立案をすすめ、市民のスポーツ実施率の向上を図っている。 オリンピック文化交流フェスティバルにおいてポッチャ体験コーナーを設置し、市民が気軽に楽しめる機会を提供した。 <p>評価: B</p>	<p>個別事業実績評価点: 45.5</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」を実践し、中長きに渡り感染症対策と向き合うなかで、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されることから、安易に中止と判断せず、ガイドラインに沿った「できる方法」を模索する。
②スポーツ指導者の養成講座等の開催 【比率: 20%】	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者として必要な知識を習得する機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> かしまスポーツカレッジの開催(10回講座) スポーツコンベンション(講習会)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> かしまスポーツカレッジ(10講座中7講座実施) スポーツ少年団指導者協議会講演会(1回実施) <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実技を含む10講義を企画立案。新型コロナウイルス感染症対策を徹底して7講座を実施したが、1/27-2/20まで県がまん防適用となったため3講座を中止とする。 鹿島アントラーズジュニアユーストレーナー、理学療法士である荒川氏を講師に迎え講演を実施(怪我をしない少年期の体づくり等、ストレッチ等実演込み)。少年団指導者、少年団保護者など約60名が参加。 <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「食事と運動と健康」をテーマに女性講師による講座を実施するなど多様な視点や意見の反映に努めた。 少年団に専門部会を設置(指導者協議会)し、求められるニーズを分析しながら講師のマッチングを行った。 <p>評価: B</p>	<p>個別事業実績評価点: 13</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツカレッジの講義内容について10年以上続く講師もいることから徐々に入れ替わりと時代に合った内容の変更を検討していく。
③スポーツホームページの運用 【比率: 10%】	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ専用ホームページを開設し、市民がスポーツに親しみ、関心が持てるようなスポーツ情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツ団体と連携した各スポーツ情報の充実 アクセス数10,000件(令和2年度4,946件) 	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツ団体と連携した各スポーツ情報の発信 3,680件 <p>評価: C</p>	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会等の減少により、各スポーツ情報が減少し、アクセス件数が減少した。 約1,000件減少 <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツ大会等の中止により閲覧件数が減少したことから、大会運営等に必要ツールであることを再確認した。 <p>評価: B</p>	<p>個別事業実績評価点: 5.75</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツを活かしきれていない側面があり、積極的な情報発信と運用が求められる。

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。			合計点数	64.3	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	B
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 運動・スポーツ実施時の感染防止対策や屋外・少人数で運動する際の正しい感染リスクについての情報発信を行い、制限が多いなかで運動・スポーツへの意欲を減退させない取組を行った。							
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	見直し	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により新しい生活様式へ移り変わるなかでも、市民の日常にスポーツ活動が定着するとともに、スポーツを通じた様々な取組を本市のまちづくりにつなげていく。					
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市民のスポーツ大会や交流の機会が減少している。また、「新しい生活様式」を実践し感染症対策と向き合う中で、体力・運動能力の低下や運動不足から身体的及び精神的な健康二次被害も懸念される。「運動・スポーツ実施率」については、ニュースポーツの普及などにより、60代及び70代の実施率が概ね高い反面、若年から50代の実施率を高めていく必要がある。							
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> 誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、気軽に行えるスポーツの普及と環境づくりを進める。 競技スポーツのみならずレクリエーションや健康づくり教室等も含めて、企業や各スポーツ団体等と連携した大会やイベントを企画立案し、市民のスポーツへの機運向上と市民相互の交流促進を支援する。・市民のスポーツ活動を支える各種スポーツ団体の活性化や指導者育成を図る。 成人のスポーツ実施率:2031年度目標 65% 							